

Trucost、市場の需要に応じ国内上場企業に関する環境分析の範囲を拡大

分析対象を 1,500 社以上に拡大し、日本市場の時価総額 98%をカバー

報道関係者 各位

東京、2018年4月10日: S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの一部である Trucost は、国内上場企業に関する環境分析の範囲を 1,500 社以上に拡大したと発表しました。これにより、投資家は日本市場の時価総額の 98%を占める企業について、炭素排出量、水への依存度、廃棄物処理、及びその他の汚染物質による影響を評価することが可能となりました。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの最高経営責任者(CEO)である Alex Matturri は次のように述べています。「日本版スチュワードシップ・コードは、投資や対話を通じて企業の持続的成長を促すための取り組みであり、200 以上の機関投資家がこれに賛同し、署名しています。クリーン・エネルギーへの移行や、その他の環境問題に対して企業がどのように取り組んでいるかに関して、市場では情報開示の徹底や可視化の推進が求められており、Trucost が行う環境分析はこうした市場の要求に応えるものとなっています。弊社では、持続可能なグローバル経済の発展に貢献するため、ESG データに関する透明性の向上や市場アクセスの改善に取り組んでおり、このたび環境分析の範囲を拡大したのも、こうした取り組みの一環であると言えます。」

Trucost 社が日本の上場企業を対象に環境情報の開示状況を調査した結果、以下のことが明らかになりました:

- S&P/TOPIX 150 指数の構成企業では、事業活動による炭素排出量の 84%が開示されている。これに対して、S&P 日本総合指数(BMI)では開示率が 65%にとどまっている。
- 時価総額の大きな企業の方が、情報開示率が高い。S&P/TOPIX 150 指数を構成する 150 社の内、事業活動による炭素排出量を開示している企業は全体の 87%に上っている。これに対して、S&P 日本総合指数(BMI)を構成する 1,669 社では、情報開示率が 21%にとどまっている。
- 事業活動における水への依存度と廃棄物処理に関しては、情報開示率がさらに低い。S&P 日本総合指数(BMI)の構成企業では、これらの情報を開示している企業がそれぞれ全体の 15%、17%にとどまっているため、全体の影響のそれぞれ 44%、51%を占めている。

Trucost の最高経営責任者(CEO)である Richard Mattison は以下のように述べています。「パリ協定が 2015 年に採択されて以降、日本はサステナブル投資の分野において最も急速な成長を遂げてきました。我々の分析によると、S&P/TOPIX 150 指数と S&P 日本総合指数(BMI)の構成企業の間では、環境パフォーマンス情報の開示状況に明確な差が見られます。したがって、Trucost が毎年行う調査プログラムを通じて、企業の情報開示を促すことができると考えています。資本フローの拡大と持続可能な社会を両立させるため、我々は高品質な環境データを提供することに努めて参ります。」

東証ホールで開催されている「RI アジア・ジャパン 2018」において、年金積立金管理運用独立行政法人 (GPIF) の理事 (運用担当) 兼最高投資責任者 (CIO) である水野弘道氏は本日、炭素排出による環境への影響を調査し、将来を見据えた経営目標の設定を支援するために、GPIF が Trucost の炭素分析を活用すると発表しました。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスに関する詳しい情報については、www.spdji.com をご覧ください。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの一部門であるTRUCOSTについて

TrucostはS&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの一部門です。炭素排出量及び環境のデータやリスク分析のリーダーであり、気候変動、天然資源の制約、及び広範な環境・社会・ガバナンス (ESG) ファクターに関連するリスクの評価を行っています。企業や金融機関はTrucostのサービスを利用することで、ESGファクターへのエクスポージャーを理解し、企業の回復力を査定し、持続可能なグローバル経済の発展に向けた変革的なソリューションを生み出すことができます。S&P グローバルは環境分析や革新的な商品開発に取り組んでいるため、ESGに関する重要な投資情報を世界の市場に提供することが可能となっています。詳しい情報については、www.trucost.comを参照ください。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスについて

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、指数ベースのコンセプトやデータ、リサーチを提供する世界最大のグローバル・リソース企業であり、S&P 500®及びダウ・ジョーンズ工業株平均®といった金融市場の代表的指標を算出しています。当社の指数に基づく金融商品に投資される資産額は、世界の指数プロバイダーの中で最大規模となっています。チャールズ・ダウが1884年に初めて指数を発明して以降、広範なアセット・クラスをカバーする指数は1,000,000 を超えており、これによりS&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、投資家が市場を測定し、売買する方法を定義しています。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、S&P グローバル (NYSE: SPGI) のグループ会社であり、個人や企業、政府が確信を持って意思決定を行う上で不可欠な情報を提供しています。詳しい情報については、www.spdji.com をご覧ください。

詳しい情報について:

Soogyung Jordan

Global Head of Communications

New York, USA

(+1) 212 438 2297

soogyung.jordan@spglobal.com

Nadja Jiang

APAC Communications

Hong Kong, HK

(+1) 212 438 8184

nadja.jiang@spglobal.com

Luke Shane

North America Communications

New York, USA
(+1) 212 438 8184
luke.shane@spglobal.com

牧野義之

日本オフィス統括責任者

03-4550-8564

Index.tokyo@spglobal.com